

まちだ市民クラブ市議会レポート

町田市議会議員

今村 るか 特集号

発行 町田市森野2-2-22 3F まちだ市民クラブ会派 090-3810-3892 rukaruka.info@gmail.com

2025年3月一般質問

町田市の歴史伝統文化の継承・発展と担い手について

質問のねらい

今村るか市議によると、町内会自治会、消防団、自主防災組織、民生児童委員、PTAなどこれまで町田市政と市民のために貢献されてきた担い手不足が深刻化の中で町田市のより一層の支援と地域に残る地名や伝統文化を後世に継承したりすることを求めたとのことでした。

町田市の答弁

地域の担い手不足を重く受け止め一層支援に努めるとともに、伝統文化や地名といった町田市の歴史を後世に伝える取り組みにも取り組んでまいります。

今村るか市議の要望

担い手不足対策は他市の状況も参考にして、出来るところから進めるとともに、学校再編などでも地名や地域の景観など大切に歴史を紡ぐ努力を求めました。



詳しくはこちらをご参照ください

2025年6月一般質問

フルインクルーシブ社会の実現に向けた市の方針や取り組みを問う

質問のねらい

今村るか市議によると、2年前に「インクルーシブ社会」への取り組み強化を求めたことを更に進めるために「フルインクルーシブ社会」とつよい表現で施策の一層の充実を求めた。またトランプ米国大統領が「DEI」(ダイバーシティ・イクニティ・インクルージョン)推進を取り消したことに触れ、町田市の姿勢を確認したとのことでした。

町田市の答弁

(市長部局・教育委員会ともに、)共生社会の実現に向けては、人それぞれの考えや個性の違いを認め合い、お互いを尊重し、それぞれができることを行うことが大切であると考えております。



詳しくはこちらをご参照ください

今村るか市議の要望

特別支援教育については2022年9月に国連障がい者権利委員会の勧告が出されているので、この勧告を受けた取り組み推進を求めました。

2025年9月一般質問

選挙権・被選挙権の権利保障について

質問のねらい

今村るか市議によると、初当選以来、投票のしづらさなど、障がい当事者の方、健常の方からの話も含め、様々な課題を伺い、投票の権利保障などの改善と充実を求めてきましたので、東京で一番充実させた町田市の取り組みを更に充実したものにすることを求めました。

町田市の答弁

今年度から、視覚障がいの方などが投票用紙の枠内に候補者名等を記入できる補助具「投票用紙記入補助具」を導入し、選挙事務従事者にはマニュアルを作成し、要支援者に対して適切適切な対応が出来るよう研修を行った。

今村るか市議の要望

期日前投票を利用される方が増えており、当日投票所についても費用対効果を考慮し、費用(税金)の削減にも取り組むよう求めました。



詳しくはこちらをご参照ください



都市づくりのグランドデザインについて

質問のねらい

市制施行から65年余りが経ち、まちが更新の時期を迎え、このタイミングを好機と捉えて、まちの魅力を一段と高めるべきと考え、小田急線・横浜線の踏切解消、北部丘陵を活かす、団地の再編、駅前スタジアム・アリーナ建設に関して市の取り組みを求めたとのこと。

町田市の答弁

2040年を見据えて、新たな都市の将来像や設計図を描き、町田市に関わる全ての人が共有する「まちづくりの基本書」として、2022年3月に「都市計画」、「交通」、「住まい」、「みどり」の4つの分野の計画を統合し「町田市都市づくりのマスタープラン」を策定し、まちづくりを進める。

今村るか市議の要望

2040年を見据えるのは実施計画、50年100年先を見据えたグランドデザインを描くよう求めた。



プロフィール

略歴 1968年町田市生まれ すみれ・草笛・小野路保育園 藤の台・金井小学校 薬師中学校 基督教独立学園高校 和光大学 町田市議会4期当選後 東京都議会3期 都議選2回惜敗 2022年3月町田市議会当選(5期目) 町田市青年学級担当 町田市立小学校中学校PTA会長 町田市消防団員 高齢者施設生活相談員 障がい者施設理事長・理事 児童養護施設理事・評議員 保育園監事・理事・評議員などを歴任 資格 社会福祉士 精神保健福祉士 社会教育士 家族 妻(作業療法士・医療ソーシャルワーカー)長女(大学生)長男(高校生)

2025年12月一般質問



詳しくはこちらをご参照ください

法律で規定されている自治体計画等の策定について

質問のねらい

2022年6月議会で国の法律によって策定が義務付けられている計画に策定と更新が負担になっていると指摘し、改善を求めたのでその後の状況を確認したとのこと。

町田市の答弁

前回の質問時より14件削減統合しました。必要な計画は策定していく。

今村るか市議の要望

犯罪被害者等支援法に基づくような計画は策定すべきと指摘しました。



社会教育施設の活用と歴史の継承に関して

質問のねらい

今村るか議員によると2023・24年に「文化・芸術・社会教育施設等をどう活かすのか」「町田市の歴史や伝統の継承について」として、博物館法改正や文化芸術基本法成立の趣旨を踏まえて、文化や芸術施策、社会教育施設がどのような取組を行ったのか、各施設の専門職員の変化や公文書管理の適正化、町田市史の進捗状況等について伺い、取組みを促して参りました。

こうした取り組みのその後を確認したとのことでした。

町田市の答弁

博物館法改正を先取りして取り組んでおります。文化芸術基本法に基づき「町田市文化芸術のまちづくり計画」を策定中で来年4月からスタートさせる。専門職の研修を充実させ、歴史文章の整理も進め、公文書管理は選別基準を創設し進めています。

今村るか市議の要望

文書管理規定や町田市歴史的・文化的資料の選別に関する要綱において責任者は総務部長ではなく市長が負うべきと指摘しました。



ゼロカーボンシティへの取り組みについて

質問のねらい

2023年12月24年9月にゼロカーボンシティまちだの取り組み、第3次マスタープランについて施策の充実など指摘してきた。2026年4月からは容器包装プラスチックの分別収集も始まるので一層の環境負荷低減施策を求めたとのことでした。

町田市の答弁

「ゼロカーボンシティまちだ」「第3次町田市環境マスタープラン」を着実に進め、2050年までに温室効果ガス実質ゼロを目指します。容器包装プラ収集に合わせ、ごみ収集の一層の効率化にも取り組む。

今村るか市議の要望

災害時に役立つV2Bを公共施設に設置し、ごみ収集体制は経費とCO2削減に一層取り組むよう指摘しました。



石阪市長への最後の質問

退任を表明されている石阪市長に、これまでも要望してきた、市長しか残すことの出来ない、5期20年の市政を振り返った記録を残すこと、それは著書を出版することであり、そうして後世に当時の首長がどのようなことを考えて施策を進めたのかを伝える「義務」が今村はあると考えるので取組んでほしい。

市長の答弁

これまで、広報まちだに連載した「カワセミ通信」を基にするなどして取り組みたい。



決議・意見書作成

地方自治法に基づいて、国や東京都等に対して町田市議会として意見・考えを提出することが出来ます。今村るか市議会議員が作成した意見書は以下の通りです。

2025年12月市議会に「大学入学に係る経済的負担の軽減を求める意見書」を提出。

大学進学を経済的負担によって諦めることの無いよう、特に複数の大学を受験し、第一志望校の合格発表を待つ間に滑り止め校への入学金納入期限が設定されている「二重払い」問題は深刻で、担軽減策を国の責任で行うよう求めました。本会議で可決されました。

2025年12月市議会に「スペシャルオリンピックスの開催を求める意見書」を提出。

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に続き11月に東京2025デフリンピックが成功裏に開催されたことを受け、オリンピックの名を冠する残り一つの大会、知的障がい者のスペシャルオリンピックを東京で開催するよう東京都に求めました。本会議で否決されています。

2025年12月市議会に「人身取引対策強化を求める意見書」を提出。

2025年9月に12歳のタイ人少女が性的サービスを強要させられていた店から東京出入国管理局に自ら助けを求め保護されていたことが報道され、「人身取引」にあらためて大きな関心が集まっている事を受け、対策強化を国に求めました。

本会議で可決されています。



詳しくはこちらをご参照ください

**「ご意見ご要望ご感想、
身近なお困りごと
相談などをお寄せください」**

町田市本町田1704-61 TEL 090-3810-3892 rukaruka.info@gmail.com